

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	13	1		・ホールや別棟、グラウンドなど最大限資源を使って支援している。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	7		・配置数満たされているが、1対1の対応が必要な場合がある。きめ細やかな支援につなげていきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	10	1	・利用者に合わせて、踏み台、スロープ、椅子など工夫している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9	4	1	・職員間で話し合い、意見を出し合いながら目標設定や振り返りを行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12	2		・保護者アンケートを元に職員で話し合いを行い、改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	4	1	・ホームページに掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	5	1	・今後選出する方向で検討中である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	13	1		・研修の周知を職員に、最近ではzoomでの研修を積極的に参加している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	14			・利用児の思いや保護者のニーズを計画に反映し、職員間で共有し、支援に繋げている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	6		・個々に応じた療育を提供し、標準化したツールは使用しているが、今後検討していく必要あり。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	12	1	1	・職員間で話し合っ決めていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	5		・支援計画を基に提供し、日々記録に残し、その都度見直しをしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	10	4		・長時間ならでは活動を考え、支援している。園外活動など広げていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	13	1		・個々の成長や障がいの特性を考慮し、作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	14			・活動の流れ、担当配置などきめ細やか打合せをしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	11	3		・日誌に記入し、ミーティングで話し合っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	13	1		・毎日その日に記録をとり、月末にまとめをし、支援につなげている。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	12	2		・個々の状況に応じ、計画の見直しを実施している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	10	4		・ガイドラインを参考に活動等計画し、支援している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	4	1	・該当児の状況を把握したのが参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	12	2		・学校からも定期的に情報提供があり、連携がとれている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	12	2		・今のところ対象児童はいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	14			・相談支援事業所から情報提供。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	11	3		・必要に応じ、相談支援事業所等と連携し、情報提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	4	1	・研修など積極的に参加できるようにしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		9	5	・コロナ禍で実施できないが、通常は、地域のイベントに参加したり、園の行事にも呼びかけ参加してもらっている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	10	1	・コロナ禍でも積極的に実施され、大事な場として参加している。区の自立連絡会には参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	13	1		・電話や連絡ノート、送迎時に直接情報交換している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	10	4		・その子の特性など伝え、一緒に考えながら支援の方法を探っていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	14			・契約時、または保護者から問い合わせがあった場合にその都度説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	14			・相談に乗りながら、一緒に考え、改善方法を見つけていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	13	1		・保護者会の活動を積極的に応援している。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	2		・苦情があった場合には、速やかに対応し、第三者委員にも報告し、改善している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12	2		・園日より、季報、掲示板などで発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	13	1		・十分に気を付け、職員にも周知している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	13	1		・個々の特性に配慮しながら、伝え方に気を付けながら支援している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	14			・園の行事やイベントには必ず招待し、多くの方が参加してくれる。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	11	2	1	・契約時に保護者へ、職員には職員研修時に読み合わせをして周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13	1		・定期的にいろいろな想定をし、実施。また消防署に年2回連絡し、総評などいただいている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	13	1		・外部研修に参加し、職員に周知している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	13	1		・身体拘束までする対象児童はいないが、他害、自傷などで危険が生じる場合は、保護者同意で支援することもある。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	13	1		・保護者から情報をいただき、細心の注意をはかる。(該当児4名)
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	5		・ヒヤリハットが生じた場合、様式に基づいて作成。職員間での共有に努める。

公益財団法人 浜松こども園

放課後等デイサービス 浜松こども園・浜松こども園みなみ

※2023年前期（半年に1度実施）

14名回収